

池ヶ原湿原 初夏の見どころ

初夏の湿原では、3種類のランが美しい花を咲かせます。なかでもミズチドリは、県内では六呂師高原のみに分布し、池ヶ原湿原が最大の自生地です。



トキソウ



カキラン



ミズチドリ



～3年以上の時間を刻む湿原植物の宝庫～

池ヶ原湿原

池ヶ原湿原は、六呂師高原に位置する約3haの湿原です。江戸～昭和初期まで、湿原のヨシは雪囲い用のヨシズに利用されてきました。しかしその後、ヨシの利用衰退や開発の影響で、樹木やヨシが茂り、貴重な湿原植物が見られなくなりました。そこで2009年以降、湿原再生の取組みが行われ、今では再び多様な植物が見られるようになりました。今年も湿原の観察会や保全活動を行いますので、ぜひご参加ください！

イベント参加者には、
花図鑑クリアファイルをプレゼント！！

池ヶ原湿原ガイド

5月18日～7月20日の毎週土曜

1日2回(各回1時間)①11:00～ ②13:15～

レンゲツツジやミズチドリなど季節ごとの花々を楽しめます。最近明らかになった湿原の歴史も解説します。

服装 長袖、長ズボン、帽子

持ち物 飲み物、タオル、雨具など



【講師】福井県自然観察指導員の会

観察会と外来植物駆除

6月23日日曜 9:30～11:30

秋のヨシ刈り活動

10月19日土曜 9:30～11:30

湿原に侵入した外来植物を抜き取り、ミズチドリなどの貴重な植物を観察します。

貴重な植物が生育する環境を維持するため、繁茂したヨシやハンノキを刈り取ります。

服装 汚れてもいい服装(長袖、長ズボン)、帽子、長靴、手袋(ヨシ刈りには革手袋がおすすめ)

持ち物 飲み物、タオル、雨具 ※お持ちの方は、外来植物駆除にはサンカクホーや草抜き鎌、ヨシ刈りには稲刈り鎌のご持参をお願いします。

- ▶ 池ヶ原湿原駐車場(奥越高原牧場となり)集合
- ▶ 全て参加無料、荒天時中止 (開催の可否は当日自然保護センターへお問い合わせください)

六呂師高原の総合情報はコチラ
六呂師高原公式ホームページ
<http://www.rokuroshi.org>



池ヶ原湿原周辺地図



池ヶ原湿原を守り活かす地域の活動

再生した湿原の保全と利活用を目的に、2014年からは、専門家や地域の企業・団体・学校、行政からなる協議会が設立されました。

協議会では、湿原保全のための調査や定期的なヨシ刈り活動、自然観察会、小学校の環境教育などを行っています。

自然観察会やヨシ刈りイベントの開催



小学校の環境教育の場として利用



お問い合わせ先
池ヶ原湿原保全・活用協議会 電話 0779-67-1655 FAX 0779-67-1656
【事務局】福井県自然保護センター メール sizen-ci@pref.fukui.lg.jp

福井県立自然保護センター
池ヶ原湿原は、恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークのジオサイトに選定されています

池ヶ原湿原

花図鑑

※花が咲く順に並べてあります



ラン科
レンゲツツジ

花は大きく、葉はしわが多い。植物全体に毒がある。かつては六呂師高原に多く見られた。



バク科
ノイバラ

初夏に白色の花を咲かせる。秋に赤い実がなり、実を薬として利用される。



バク科
ズミ

明るく湿った場所を好む樹木。つぼみは赤いが花は白い。直径6-10mmの赤い実をつける。



アイリス科
カキツバタ

湿地に生えるアヤマメの仲間。高さ40-80cmの花茎の先に紫色の花をつける。



ラン科
トキノウ

花の色がハキの羽のような色をしている。1本の茎につく花と葉の数は1つずつ。



バク科
ミヤコイバラ

初夏、ノイバラよりやや遅れて白色の花が咲く。秋には赤い実をつける。



ワスレカサ科
ノカンゾウ

湿った場所に生える。普通、花は橙〜赤褐色だが、池ヶ原湿原のものは黄色い。結実はまだ。



ラン科
ミスチドリ

茎の上の方に、クリオネのような形の小さな花をたくさんつける。花には良い香りがある。



ラン科
カキラン

茎の上部に柿の実のような色の花を10個程度つける。葉脈沿いには、縦じわがある。



サクラソウ科
ヌマトラノオ

湿地に生え、地下茎をのびて増える。茎の下から白い花が順に咲く。



ユリ科
コバキボウシ

日あたりのよい湿地に生える。葉のすじはへこんでいる。花は下向きが横向きに咲く。



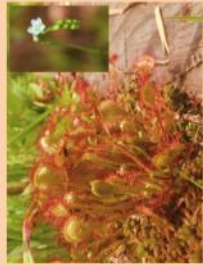
ユリ科
コオニユリ

花の内側には黒っぽい小さな点がある。地中にある茎は白色の球形で食べられる。



オトキリソウ科
トモエソウ

山地の草原に生える。花びらがよじれ“巴”の字の形に似ているため、トモエソウとよばれる。



モウセンゴケ科
モウセンゴケ

湿地に生える食虫植物。葉にあるネバネバした毛で、小さい虫をつかまえて消化する。



タヌキギク科
イヌタヌキモ

水中で育つ食虫植物。葉にある袋で、ミジンコなどの小さな水生生物をつかまえて消化する。



キク科
ミスギク

日当たりのよい山地の湿地に生える。茎と葉には、茶色の毛がたくさんある。



ミソハギ科
ミソハギ

山野の湿り気のある場所に生える。お盆の頃に咲くため、お供えとして利用されてきた。



キク科
サワヒヨドリ

山野の日あたりのよい湿地を好む。葉は細長くギザギザしている。



オトキリソウ科
ミスオキギリ

池や湿地に生える。花は午後1cm程に開き、夕方には閉じる。葉は秋には美しく紅葉する。



キク科
オオニガナ

山地の湿地に生える。茎の上の方に約4cmの花をたくさんつける。葉はとても苦い。

池ヶ原湿原の花ごよみ 花期

種名	5月	6月	7月	8月	9月
レンゲツツジ					
ノイバラ					
ズミ					
カキツバタ					
トキノウ					
ミヤコイバラ					
ノカンゾウ					
ミスチドリ					
カキラン					
メタカラコウ					
ヌマトラノオ					
コバキボウシ					
コオニユリ					
トモエソウ					
モウセンゴケ					
ミノハギ					
イヌタヌキモ					
ミスギク					
サワヒヨドリ					
ミスオトギリ					
オオニガナ					